



令和3年
12月号

学校だより

小野市立中番小学校
校長 田中 康善

令和3年度運動会。

秋晴れの中、午前中開催！

★2年ぶりの運動会。感染症対策を講じ、無事実施できました。

10月30日(土)、令和3年度運動会を無事、終えることができました。2年ぶりの開催。昨年は、新型コロナウイルス感染症の為、その実施を見送り、今年の春開催は、緊急事態宣言の為、止むを得ず秋に延期しておりました。宣言解除、感染拡大傾向の鈍化により、今年は無事、開催することができ、嬉しい限りです。ただ、広く地域の方をお迎えすることは叶わず、地域の皆様には、残念な思いとなりましたこと大変申し訳なく思っております。運動会当日は、前日の強い風も収まり、あたたかな晴天、子供達の願いが通じたかのように感じました。今年の運動会は、全校生が最後まで参加すること、真剣勝負をすること等、従来の運動会で大切にしたいところは残したいと考えていました。2学期、子供達には、学習、運動・スポーツ、生活の様々な場面で、自らが、一生懸命に、誠実に、真摯に、課題に「本気」で向き合うことを求めています。運動会は、その第2弾でした。まず、運動会は走ることに。1234年生の徒競走、56年生の全員リレー。真っ直ぐに走ることが難しい1年生から、そのスピードが風を切るようになる6年生まで、その学年毎の走る姿に、子供達の成長を感じました。次に、表現演技は美しさ。あどけなさが残る123年生、迫力と機敏さ、きれいのある動きの456年生、入場門で待機す

る凛とした姿、子供達の動きの中に、一生懸命さとやる気を感じることができました。全ての子供達の笑顔が、表情が、キラキラ輝いていました。そして、競争演技は団体戦。123年生は、運動会の定番「玉入れ」、456年生は、「大王」。コロナ禍の中、大きな声で応援することはできませんでしたが、運動場いっぱい運動会らしい情景が広がりました。最後は、本校の生活基盤である全校縦割り班での「なかよしリレー」、大変、微笑ましいものでした。また、入場行進、開会式、閉会式は、児童会を中心とした6年生の活躍の場です。6年生は最上級生として見事に、その期待に応えてくれました。閉会式で話しましたが、運動会は、「頑張った自分に、一緒に頑張った同じ組の人に、正々堂々と戦った相手の組の人に、演技の舞台を整えてくれた456年生の演技係・準備係の人に、誰よりもこの運動会の成功を願う、自分のことよりもみんなのことを考え、行動した6年生に」支えられてできたことなのです。そう、決して一人ではできないこととなのです。運動会は、多くの成果を、この

5年生、自然学校。

★冬の自然学校、初体験です。ワクワクドキドキ！

中番小学校にもたらしてくれました。

12月6日から8日までの二泊三日、5年生は自然学校に行きます。9月の延期から2カ月遅れの実施となりました。自然学校は夏のイメージですが、今回は冬の自然学校。このことも考えようによっては、新た

な経験であり、楽しみなことで、冬の自然に親しむことができます。何事も捉え方次第です。子供達には、何事にも自ら果敢に挑戦し、豊かな体験・経験を積んで欲しいと願っています。課題から自分が何を学ぶか。それは、学習者本人の気持ち、向き合い方、それが大きく関わっているのだと思います。ただ、今年も4泊5日とはいかなかったことが誠に残念です。

2学期、まとめの時期。

★保護者の皆様との語らい、実り多い個人懇談会に

早いもので、2学期もラスト一ヶ月となりました。2学期のまとめの時期、個人懇談会を実施します。ご家庭と学校とが互いに忌憚なくお話しができるよい機会です。お子様のこと(学習・生活、お家の様子、ご心配なこと、気になること等)、また、学校へのご質問等もお聞かせいただけるよい相談の場です。15分程度と短い時間ですが、ご家庭と学校を繋ぎ、双方にとって実り多いものになることを願っております。

どんなに厳しく苦しい状況にあっても、いつももあたたかく見守り、ご理解をいただいている保護者の皆様、地域の皆様の惜しみないご支援とご協力に深く感謝申し上げます。「今日も学びたい、明日も行きたい。」そう思える中番小学校の実現に向け、今後様々な教育活動に取り組みでいきたいと考えております。中番小学校は、この地域とともに在り、保護者の皆様、地域の皆様と一緒に歩んでいきたいと願っています。